

ひまわり通信 平成27年度

新しく就任された先生

こんにちは。桜井です。はじめまして・・・と言いたいところですが。2 回目です。

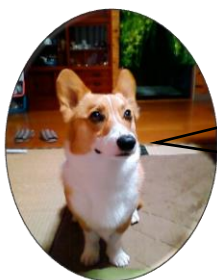
一時看護学校を離れましたが、縁あって再就職をしました。

学校を離れている間、ゆっくりと自分自身のことを考えることができました。

また、色々な医療の現場も経験することができ、学校を離れている間は私自身の修行の機関だったのかなと今では思っています。

まあ、そんなこんなでパワーアップ?して帰ってきました。

よろしくお願いします♪



私の飼い犬です。
名前は“ししまる”とい
います。
2歳10か月のオスです。



桜井貴恵

同窓会の皆様初めまして、こんにちは。今年の4月より専任教員として入職した齋藤です。緊張の毎日ですが、学生の皆さんと一緒に考えながら、目標に向かって学校生活を送っていきたいと思っています。臨床を離れ視点が変わることでもえてくること、わかることなど、今までの自分の看護を振り返り、「看護とは」を改めて考えてみたいと思っています。

学校に訪問される卒業生の方や、実習先でみかける多くの卒業生の方が看護師として仕事をされている姿をみかけると、大変頼もしく、刺激を受けます。早く新しい環境になれて、諸先生方、同窓生の皆様のご指導を受けながら、学生の皆さんと関わっていきたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



齋藤 喜子

退職された先生

感謝

今野あかね

上尾看護専門学校では2年間成人看護を担当し、5年間在宅看護を担当させていただきました。最期の3年間は授業や担任をしながら大学院にいかせていただき充実した毎日でした。支援していただいた、教職員の皆様、学生の皆様に深くお礼申し上げます。教員をしていく中では、1年の頃初々しかった学生さんが実習に行くと看護師の卵として患者さんと信頼関係を築き、ケアを行っている姿をみて成長と一緒に喜ぶことがなによりうれしいことでした。みなさんの成長をみながら、自分も成長していきたいという思いを強くもっていました。今後も自分のペースで少しずつ学びながら看護職を続けていきたいと思えます。この学校で出会った人とは一生のご縁だと思っていますので、何かお力になれることがありましたら、どうぞご一報ください。どこかの学会でお会いできる日を楽しみにしています。見かけましたら必ず声をかけてください。



同窓会の皆様

林 由美子

私は、この度3月31日で退職させていただきました。6年間という短い期間でしたが、一言では言い尽くせないくらい、色々なことを学ばせていただきました。何より、「看護とは」を学生の皆さんに伝えることで、改めて看護と自分自身を見つめ直す良い機会となったこと、また、良い職場に恵まれたことに感謝しています。

大変なこともたくさんありましたが、学生さんたちと接する時間は楽しい時間でした。そして、助けてもらうことも多々あり、本当にありがとうございました。

4月から私は、子どもの施設で働き始め、施設での看護師の役割をあらためて学んでいます。そして、偶然ですが、新しい職場に卒業生の方が勤務されていて丁寧にご指導いただいています。学校の話に花が咲くこともあります。施設での看護とは、また違った分野で、奥が深く、覚えることもたくさんありますが、子どもの環境を整えるための力になれるよう頑張っていきたいと思えます。

皆様大変お世話になり、ありがとうございました。これからもお身体に留意しご活躍ください。



<平成 26 年度 会計報告>

年月日	内容	入金	出費	残金
	前年度繰越金			1374686
平成 26 年 3 月	役員会議費		12255	
3 月	総会関連通信費		6702	
4 月	入学式花代		10000	
6 月	備品		648	
9 月	総会開催費用		674,055	
	花代(宣誓式)		5,000	
	総会会費	270,000		
1 月	文具代		50,259	
	花代(卒業式)		10,000	
	交通費		24,000	
	24 回生会費	200,000		
	残金			1,058,767

会計監査の結果、適正妥当であることを認める

平成 27 年 4 月

会計監査 岩間 政和 印

<平成 27 年度 予算案>

内容	出費
入学・卒業式花代	20,000
通信費（切手・封筒・ラベル・紙代）	100,000
役員会会議費・交通費	100,000
その他（退職祝）	50,000
予算案合計	270,000

< INFORMATION >

第 104 回看護師国家試験

平成 27 年 2 月 22 日第 104 回看護師国家試験が行われ、3 月 25 日に発表がありました。

当校の合格率 **100%!!** 全国の合格率 90%でした。

平成 27 年度 向日葵会会長挨拶

向日葵会会長 佐藤英司

皆さんこんにちは、いかがお過ごしでしょうか。最近、異常気象にみまわれ、今年も猛暑が続き多くの被害をもたらされました。私達もいつどのような災害に見舞われるか、巻き添えを受けるか警戒を怠れません。何の事故にも合わぬよう願う次第であります。

さて、私達職能団体の主催する研修会に参加するたびに、学習・研修に熱心な方にお会いします。そのモチベーション・臨む姿勢には敬意を表します。その反面、施設での研修受講率が問われることがあります。意欲の高い方は一人でも参加されますが、いかに全体の底上げをするのか、日々苦慮しているところでもあります。

看護師の倫理綱領には、「常に個人の責任として、継続学習による能力の維持・開発に努める」とあります。私たちに与えられたライセンスには、このように問われた方針が導かれています。学校で教授いただいた“生涯学習”という言葉を思い出される今日この頃です。

日々忙しく業務をこなされている皆様方には、お身体を大切になさってご活躍される事を祈念いたしまして御挨拶とさせていただきます。

向日葵通信に寄せて

野澤 祐子

平成27年3月に、第24回生が卒業しました。全員が国家試験に合格し、今はそれぞれの希望する病院に就職し、新人研修をスタートさせていることと思います。今は大変厳しい時期と思われませんが、先輩看護師すべてが通ってきた道です。

さて、現在日本では2025年問題を控え、これからの医療をどうするのか、たいへんむずかしい問題をかかえています。同時に看護師養成のためのカリキュラム改正も間近いと言われていますが、卒業生の皆様の現場では、どのような話題がささやかれているのでしょうか。

超高齢社会となった日本では地域包括ケアシステムが構築されています。高齢者の尊厳を保ちつつ自立した生活の支援をめざしたものです。可能な限り住み慣れた地域で生活が継続できるような体制が検討され、地域において医療や介護などの関連機関が連携し、在宅医療・介護のありかたが考えられています。その中で看護職に対する期待は大変大きいものがあります。看護職は生命の消耗を最小にし、生活を整える専門家です。健康・不健康を問わずあらゆる健康レベルの人々にその人らしい健康な生活が継続できるよう寄与するのが看護職です。地域包括ケアシステムは新たな取り組みですが、看護の目指す健康な生活は、保健・医療・福祉の連携が必須であり、当校のカリキュラムの中で学んでいただいたことだと思います。地域包括ケアシステムは新たなものですが、看護が個別性をとらえ、希望する場所で生活できるよう支援することには変化はありません。

時代の変遷とともに医療体制の変化はありますが、看護の原点は揺るぎないと感じています。今後、卒業された皆さんは地域の保健・医療・福祉の様々な分野で活躍されることでしょう。地域連携を活用しながら看護として健康な生活の支援に寄与できることを願っています。これからもますますご活躍ください。

平成27年度役員 岩崎・菊地・木村・高橋・三浦・吉野